

令和4年度
事業報告書
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

令和4年度事業報告

会員数 令和4年4月 1日現在 法人会員71 個人会員52 賛助会員6 計129
 令和5年3月31日現在 法人会員71 個人会員53 賛助会員6 計130

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

(1) 全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本年度は、本県から1社1件を推薦したが、受賞はなかった。

令和4年度全国発明表彰式

日時 令和4年6月30日（木）午後3時10分～午後4時10分

会場 The Okura Tokyo プレスステージタワー1階「平安の間Ⅱ・Ⅲ」東京都港区虎ノ門2-10-4

(2) 関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は178件509名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり12件32名を推薦した。

表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催された。

令和4年度関東地方発明表彰式

日時 令和4年11月18日（金）

会場 ベルクラシック甲府 山梨県甲府市丸の内1-1-17

令和4年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	特許・登録番号	会社名
静岡県知事賞	省エネルギーと省資源に貢献する圧縮機	長澤 宏樹	第 4964288 号	三菱電機（株）静岡製作所
		遠藤 勝巳		三菱電機エンジニアリング（株）静岡事業所
静岡県発明協会会長賞	新冷媒の性能を引き出す高効率熱交換技術	横関 敦彦	第 6698196 号	日立ジョンソンコントロールズ空調（株）
		多田 修平		元日立ジョンソンコントロールズ空調（株）
		坪江 宏明		
静岡県発明協会会長賞	電動機を搭載した電気機器	矢部 浩二	第 5855680 号	三菱電機（株）
		桶谷 直弘		住環境研究開発センター
発明奨励賞	食品を過冷却状態で保存する冷蔵庫	山村 毅	第 6611952 号	三菱電機（株）静岡製作所
		伊藤 有希		
		難波 章弘		
発明奨励賞	空気調和器の新フィルター清掃機構	横田 周平	第 6385562 号	三菱電機エンジニアリング（株）静岡事業所
		大石 雅之		

発明奨励賞	電子レシート発行方法	杉山 晃一	第 6410864 号	東芝テック (株)
		荒井 康博		
		五反田 剛		
発明奨励賞	現像装置	高橋 伸彰	第 6788972 号	東芝テック (株)
発明奨励賞	インクジェットヘッド	下里 正志	第 6467156 号	東芝テック (株)
発明奨励賞	蛍光 X 線膜厚計の強度安定化技術	廣瀬 龍介	第 6082634 号	(株) 日立ハイテクサイエンス
		高橋 春男		(株) 日立ハイテク
		的場 吉毅		(株) 日立ハイテクサイエンス
		田村 浩一		
発明奨励賞	ドレン水で省空間高効率熱交換の昇降機空調	井上 常俊	第 4280114 号	東芝キャリア (株)
		佐藤 一久		
		田井 裕一		
		仙道 要		
発明奨励賞	ドレンポンプ取外し容易な空調室内ユニット	吉武 伸哲	第 5128605 号	東芝キャリア (株)
		我科 賢二		
		望月 和男		
		小松 洋介		
発明奨励賞	高出力 LED の給電構造	渡邊 重之	第 4350617 号	(株) 小糸製作所
		塚本 広徳		
		野村 幸生		

2. 青少年の創造性開発及び育成

(1) 学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団及び各報道機関の後援により、「第70回静岡県学生児童発明くふう展」と「第45回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

展示及び表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止し、賞状については、受賞者の在籍する各学校に送付し、各受賞者に渡すよう依頼した。

県知事賞及び県発明協会会長賞については、当協会会長が各学校を訪問し、賞状を各受賞者に授与した。

①第70回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	38点	16点
中学生	19点	13点
合計	57点	29点

上記県展で入選した作品から、小学生9点、中学生10点を第81回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
入選	ポン！とラチン コーヒー消臭ポット	浜松市立和田小学校	4年	西 はのか
入選	ポイ捨てるス	浜松市立富塚中学校	3年	松下 緯央

②第45回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	19点	10点
中学生	77点	14点
合計	96点	24点

上記県展で入選した24点を第45回未来の科学の夢絵画展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
優秀賞	ミドリムシくん、地球を助けて!!	浜松市立広沢小学校	3年	川上 将太
優秀賞	科学の力で絶滅した動物達に	浜松市立南部中学校	1年	河 世珠
奨励賞	ずてるものを生かすエネルギーに変えるロボット	湖西市立知波田小学校	4年	伊藤 はな

③後 援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援した。

- 1) 第57回富士市発明くふう展後援
- 2) 第36回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第39回湖西発明くふう展並びに第28回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第7回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

(2) 児童・生徒におけるものづくり体験の機会創出促進業務（静岡県からの受託事業）

児童・生徒のものづくり体験の場を提供する県内少年少女発明クラブの活動を広く周知し、新たなクラブの設置を促進するため、当協会ホームページにPRページを開設し、保守管理を行った。

<発明クラブ> 三島市少年少女発明クラブ、沼津市少年少女発明クラブ、静岡市少年少女発明クラブ、藤枝市少年少女発明クラブ、湖西少女発明クラブ

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から受託した産業財産権に関する事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

(1) 知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2名（非常勤）

項目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (3年度)
訪問企業件数	325	412	126	149	275
来訪指導件数	52	39	75	62	62
マッチング件数	75	75	100	110	68
成約件数	25	12	48	63	19
事業化件数	6	9	150	300	3
講習／講演	55	66	120	140	47

(2) 特許マッチング事業

トクラス株式会社で生まれた発明・研究成果を会員企業や地域の中小企業に紹介する知的財産マッチング会を静岡県産業振興財団と共催した。

トクラス株式会社 知財マッチング会

日 時 令和 4 年 7 月 26 日(火)

会 場 トクラス ショールーム静岡

知的財産の提供 トクラス株式会社

(3) 知財総合支援窓口運營業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの受託事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

① 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下「中小企業等」という。）を対象として実施した。

② 実施体制

中部（本部） 3名（常勤1名、非常勤2名）

東部（沼津支所）2名（常勤1名、非常勤1名）

西部（浜松支所）2名（常勤2名）

③ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(ア) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(イ) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

④ 支援実績

項目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (3年度)
窓口相談受付件数	2,900	2,840	97.9	100.3	2,831
周知活動件数	250	252	100.8	98.4	256

農業・食関連産業件数	290	324	111.7	114.9	282
連携支援件数	360	506	140.6	130.4	388
新規相談件数	480	410	85.4	89.9	456
顧客満足度調査結果	90.0	95.4	—	—	98.8

⑤電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、78人で、1か月当たり約6.5人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が78人中58人と大部分を占めており、地域別では、静岡市37人、藤枝市・島田市各8人、沼津市6人、富士市・焼津市各4人、その他11人となっている。

⑥連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議を、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で以下の通り2回開催した。

第1回：令和4年6月13日（月）静岡県産業経済会館3階第2会議室

第2回：令和5年1月23日（月）静岡県産業経済会館3階特別会議室

会議の参加者は、関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、（公社）静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、（公社）静岡県農業振興公社、三島信用金庫、沼津信用金庫、静岡信用金庫、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫静岡支店、日本貿易振興機構（ジェトロ）静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、日本弁理士会東海会静岡県委員会、静岡県警である。各機関には、各々の機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、各々の活動状況や協働支援の実例、課題や問題点、今後の活動などについて協議・検討したほか、第1回では商店街振興、第2回では営業秘密管理をテーマに情報共有や意見交換を行うことにより、連携の強化を図った。

⑦事業の周知、広報活動の実績

（ア）ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

（イ）事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計6,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

（ウ）アンケート調査

知財総合支援窓口の利用促進を図るため、支援機関から補助金を受けている企業（ものづくり支援）及び広告配信サービス「シラレル」実施により、ホームページへアクセスしてきた企業を対象としたアンケート調査を実施した。（アンケート送付先 東部地域 256社、中部地域 347社、西部地域 373社、計 976社）

（エ）包括連携協定の締結

企業における知的財産の活用促進を通じて、地域経済の活力創出を目指し、金融機関との連携を強化するため、新たに静岡県信用保証協会、静岡信用金庫、日本政策金融公庫及び沼津信用金庫と包括連携協定を締結した。

協定締結金融機関とは、同機関職員や会員企業に対する知財セミナーを共催し、静岡県知財総合支援窓口の事業内容や連携事例を紹介する等、窓口の周知と連携強化を図った。

(オ) 広告配信サービス「シラレル」を活用

BtoB 向け WEB 広告配信プラットフォーム「シラレル」及び「ADMATRIX DSP」を活用し、県内中小企業の製造・技術サービス・卸・小売業者等を抽出し、各種メディアを使ってピンポイントで広告配信した。両サービスには、バナー広告をクリックした企業をリスト化することができる利点があり、「シラレル」のリストは周知活動にも活用した。

「シラレル」は2か月間実施し、9,561件のクリック数（クリック率0.22%）、「ADMATRIX DSP」は1か月間実施し、1,101件のクリック数（クリック率0.10%）があった。

広告がクリックされることで、ホームページへのアクセス数等の増加に大きく寄与し、認知度の向上につながった。

(カ) YouTube 動画の活用

より多くの人に興味、関心を持ってもらうよう「INPIT 静岡県知財総合支援窓口」PR 動画のコンテンツを配信し、事業周知に努めた。

(キ) 路線バス背面への広告掲載

INPIT 静岡県知財総合支援窓口の認知度を上げる新たな取組として、しずてつジャストラインの路線バス1台について、背面広告を1年間実施した。

(ク) その他

伊東商工会議所及び INPIT の共催で開催した商店街セミナーや、関東経済産業局、静岡県及び当協会の共催で開催した知財セミナー等において、知財総合支援窓口の活動紹介等を実施した。

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

(1) 県内の特許公報等分類別動向調査 (R4.4~R5.1)

区分 (注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	362	771	78	30	82	289	363	436	2,411
特許公報	238	710	69	20	73	324	432	351	2,217
登録実用新案公報	39	18	2	0	9	6	3	2	79
公表特許公報	0	1	0	0	0	0	0	3	4
再公表特許公報 (注2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	639	1,500	149	50	164	619	798	792	4,711

(注1) A = 生活必需品. B = 処理操作・運輸. C = 化学及び冶金. D = 繊維及び紙

E = 固定構造物. F = 機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G = 物理学. H = 電気

(注2) PCT (国際特許協力条約) に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

(2) 先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

(3) 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許公報プラットフォーム (J-PlatPat) を活用した特許公報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

(1) 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会（通称：パテント部会）」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理の実務に関するテーマを決め、講演会や勉強会を開催した。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催した。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月20日	講演会 「著作権の基本と著作権に関する契約実務における留意点」 講師：静岡のぞみ法律特許事務所 弁護士・弁理士 坂野 史子 氏	25名	ペガサート
第2回	5月18日	講演会 「知的財産や国際関連の取引及び紛争に対応した経験からの比較的考察」 講師：中川・山川法律事務所 弁護士 中川 康生 氏	24名	ペガサート
第3回	6月28日	記念講演会 「中小企業庁長官賞を受賞した電動アシスト自転車の開発裏話」 講師：株式会社デイトナ コンプライアンス推進室 室長 袴田 良 氏	24名	県産業 経済会館
第4回	7月20日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#1 特許調査入門」 講師：INPIT静岡県知財総合支援窓口 相談対応者 吉田 典江 氏	8名	ペガサート
		2の島 勉強会 「特許出願書類の補正に関する勉強会」 講師：一般社団法人静岡県発明協会 特許流通アドバイザー 長谷川 和家 氏	15名	
第5回	9月21日	1の島 ～“特許の目”を効かせた事例の紹介～ 講師：一般社団法人静岡県発明協会 特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	7名	ペガサート
		2の島 講演会 「新商品開発における国内および外国での知的財産権の活用と留意点」 講師：日本橋知的財産総合事務所 代表弁理士 加島 広基 氏	23名	
第6回	10月19日	グループ討論会 「こんな事・あんな事 皆さんはどうされていますか」 司会：旭テック株式会社 元特許室長 鈴木 直博 氏	19名	ペガサート

第7回	12月21日	講演会 「特許情報との付き合い方」 講師：(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油天然ガス事業本部 国司 洋介 氏	22名	ペガサート
第8回	2月15日	講演会 「意匠の活用方法～改正法・商標との知財ミックス・海外意匠」 講師：ユアサハラ法律特許事務所 弁理士 青木 博通 氏	26名	ペガサート
第9回	3月15日	講演会 「欧州統一特許制度の運用開始に際して」 講師：NGB (株) 特許部 マネージャー 高橋 卓也 氏	16名	ペガサート

(2) 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催した。(計画していた4回のうち、3回中止、1回リアル開催した。)

第1回	4月20日	第21回 ① 「知財管理に関する予算計上」は、ビジネス、知財またはその他の部門か。 ② 「出願、補正書等」の内容について、どこまで知財部門が係わるのか。 ③ 「自社品が他社権利に抵触すると思われるとき」どこまで知財部門が係わるのか。 ④ 「他社品が自社権利に抵触すると思われるとき」どこまで知財部門が係わるのか。 講師：元旭テック株式会社 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	7名	ペガサート
-----	-------	---	----	-------

(3) 知的財産権制度説明会（発明推進協会への協力事業）

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた2回をいずれも中止とし、オンラインによる開催となった。

6. 会議等

(1) 会計監査 令和4年5月13日 当協会

(2) 総 会 令和4年6月28日 静岡県産業経済会館

(3) 理 事 会 令和4年5月25日 静岡県産業経済会館
令和4年6月28日 静岡県産業経済会館
令和5年3月22日 静岡県産業経済会館

(4) パテント部会幹事会

令和4年4月20日 他8回

(5) 関東地方発明表彰地方選考委員会

令和4年8月25日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集せず、書面による審議にて開催

(6) 関東地方発明表彰式典

令和4年11月18日 ベルクラシック甲府
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関東地域発明協会会長懇談会は中止)

7. 各種情報の収集及び提供事業

(1) ホームページによる情報発信

キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

(2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）

令和4年6月1日 2022 VOL. 8 No. 45

令和4年9月1日 2022 VOL. 8 No. 46

令和4年12月1日 2022 VOL. 8 No. 47

令和5年3月1日 2023 VOL. 8 No. 48

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会に出席した。

令和4年5月27日 (WEB会議方式による開催)

令和4年9月9日 (WEB会議方式による開催)

令和4年12月9日 (ハイブリッド開催)

令和5年3月21日 (ハイブリッド開催)

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,421,220	26,326,538	11,094,682
未収入金	12,475,785	24,410,261	▲ 11,934,476
流動資産合計	49,897,005	50,736,799	▲ 839,794
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	9,745,440	8,459,000	1,286,440
特定資産合計	9,745,440	8,459,000	1,286,440
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	0	111,240	▲ 111,240
その他固定資産合計	134,900	246,140	▲ 111,240
固定資産合計	9,880,340	8,705,140	1,175,200
資産合計	59,777,345	59,441,939	335,406
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,753,909	2,089,728	▲ 335,819
預り金	915,188	968,192	▲ 53,004
未払消費税	2,583,300	1,306,200	1,277,100
未払法人税等	208,500	650,000	▲ 441,500
流動負債合計	5,460,897	5,014,120	446,777
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,745,440	8,459,000	1,286,440
固定負債合計	9,745,440	8,459,000	1,286,440
負債合計	15,206,337	13,473,120	1,733,217
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	44,571,008	45,968,819	▲ 1,397,811
負債及び正味財産合計	59,777,345	59,441,939	335,406

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,005,000]	[3,052,500]	[▲ 47,500]
法人会員受取会費	2,250,000	2,280,000	▲ 30,000
個人会員受取会費	700,000	717,500	▲ 17,500
賛助会員受取会費	55,000	55,000	0
② 事業収益	[53,699,508]	[56,526,284]	[▲ 2,826,776]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	63,668	68,800	▲ 5,132
情報サービス刊行物事業収益	67,854	61,357	6,497
都道府県受託事業収益	11,289,693	11,288,164	1,529
情報・研修館受託事業収益	41,878,293	44,707,963	▲ 2,829,670
特許庁請負事業収益	0	0	0
③ 受取発明奨励等	[50,000]	[50,000]	[0]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
④ 雑収益	[222,754]	[484,657]	[▲ 261,903]
受取利息	517	505	12
雑収益	222,237	484,152	▲ 261,915
経常収益計	56,977,262	60,113,441	▲ 3,136,179
(2) 経常費用			
① 事業費	[52,926,091]	[54,103,020]	[▲ 1,176,929]
発明奨励発明展事業費	1,366,817	1,268,581	98,236
発明奨励表彰式事業費	726,805	551,710	175,095
発明普及会員管理費	99,251	70,645	28,606
特許制度普及事業費	1,008,355	926,525	81,830
特許情報発信事業費(複写事業)	14,949	10,547	4,402
特許情報発信事業費(刊行物事業)	47,998	47,330	668
特許情報発信事業費(情報検索事業)	0	13,116	▲ 13,116
都道府県受託事業費	11,289,693	11,288,164	1,529
情報・研修館受託事業費	38,372,223	39,926,402	▲ 1,554,179
特許庁請負事業費	0	0	0
② 人件費	[3,000,046]	[2,415,091]	[584,955]
給料手当	1,067,508	734,254	333,254
法定福利費	615,297	371,366	243,931
退職給付費用	1,286,440	1,273,626	12,814
福利厚生費	30,801	35,845	▲ 5,044
③ 事務費	[2,277,936]	[2,317,275]	[▲ 39,339]
水道光熱費	242,237	201,104	41,133
通信費	222,613	223,581	▲ 968
運送費	0	0	0
賃借料	357,060	397,740	▲ 40,680
旅費交通費	1,580	2,760	▲ 1,180
消耗品費	223,127	433,941	▲ 210,814
会議費	166,410	130,095	36,315
支払手数料	436,062	416,080	19,982
諸会費	52,500	52,500	0
租税公課	84,507	122,634	▲ 38,127
保守料	215,600	215,600	0
広告宣伝費	0	10,000	▲ 10,000
修繕費	165,000	0	165,000
ソフトウェア償却費	111,240	111,240	0
雑費	0	0	0
経常費用計	58,204,073	58,835,386	▲ 631,313
当期経常増減額	▲ 1,226,811	1,278,055	▲ 2,504,866

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 1,226,811	1,278,055	▲ 2,504,866
法人税、住民税及び事業税	171,000	630,100	▲ 459,100
当期一般正味財産増減額	▲ 1,397,811	647,955	▲ 2,045,766
一般正味財産期首残高	45,968,819	45,320,864	647,955
一般正味財産期末残高	44,571,008	45,968,819	▲ 1,397,811
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	44,571,008	45,968,819	▲ 1,397,811

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
なお、未償却の適用時差異残高は、1,992千円（残存償却数3年）であります。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	8,459,000	1,286,440	0	9,745,440
合 計	8,459,000	1,286,440	0	9,745,440

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	9,745,440	(—)	(—)	(9,745,440)
合 計	9,745,440	(0)	(0)	(9,745,440)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	556,200	556,200	0
合 計	556,200	556,200	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,459,000	1,286,440	0	0	9,745,440

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	36,506,032 915,188		
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店				
	未収金	静岡県 情報・研修館受託事業	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務	1,289,693 11,186,092		
流動資産合計				49,897,005		
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	9,745,440		
		静岡銀行 本店				
その他固定資産	敷金	東部(沼津支所)	沼津支所賃貸敷金	134,900		
固定資産合計				9,880,340		
資産合計				59,777,345		
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員 相談担当者 流通AD NTT-ME NTTファイナンス(株) キャンオンマーケティングジャパン(株) 登崎哲也 ASKUL サイバーパテント 静岡DC (株)TOKAI	3月分社会保険料 知財総合支援窓口運営業務人件費 知財総合支援窓口運営業務人件費 知的財産活用促進事業人件費 2月3月分プロバイダ料金等 3月インターネット回線使用料等 コピー料金 発明クラブwebページ管理費 消耗品 3月分使用料 2月分webex通信料等 3月分プロバイダ料金	223,184 118,000 512,800 816,000 4,730 8,052 3,300 6,600 21,214 27,500 11,220 1,309		
		預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	915,188	
		未払消費税	静岡税務署	4年度消費税	2,583,300	
		未払法人税等	静岡税務署	4年度法人税	208,500	
		流動負債合計				5,460,897
		(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	9,745,440
		固定負債合計				9,745,440
		負債合計				15,206,337
		正味財産				44,571,008

監査報告書

令和4年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和5年5月12日

監事

石垣 明彦



監事

滝川 一儀

